



令和7（2025）年度～令和11（2029）年度

第3期 阿賀野市地域福祉計画 ・地域福祉活動計画

阿賀野市成年後見制度利用促進基本計画

阿賀野市再犯防止推進計画

地域福祉とは



生活の中で、ほんの少しの不便さや不安を感じたことはありませんか？

例えば…

- 相談先がわからない
- 地震の時の避難が不安
- こどもの登下校が心配
- 車がなくて外出できない

このような**不便さ**や**不安**は、
ほんの少しの
手助けや気遣いで
解決できることが
たくさんあります。

地域福祉とは

こうした問題を地域の力で解決し、「住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、みなさんが主役で進める取組」のことです。

例えば、近所の人にあいさつをすることやこどもの安全を地域で見守ることも地域福祉活動の一環です。

地域福祉を進めていくためには、みなさん、自治会、福祉関係団体、社会福祉協議会、行政等が、支え合いの取組について協力し、お互いの不足を補い合いながら、地域全体で福祉を推進していくことが必要となります。

令和7年3月



阿賀野市



阿賀野市社会福祉協議会

地域福祉計画・地域福祉活動計画とは

地域福祉計画と地域福祉活動計画は、
車の両輪のように密接に連携して地域福祉を推進していきます

地域福祉計画とは

社会福祉法第 107 条の規定に基づき、市町村における地域福祉に関する全体的な取組を総合的にまとめた計画です。

地域福祉



地域福祉活動計画とは

社会福祉法第 109 条に規定された社会福祉協議会が中心となって作成される、地域福祉に関する具体的な取組を記述した民間の計画です。

地域福祉計画・地域福祉活動計画がめざすもの

みなさんが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、
『地域共生社会の実現』と『地域福祉の推進』をめざします！

地域共生社会の実現

すべての人々が地域、暮らし、生きがいをともに創り高め合う社会の実現をめざします。

地域福祉の推進

地域福祉の推進にあたっては、みなさん一人ひとりの主体的な活動（自助）、近所の助け合いやボランティア活動等による住民同士の支え合い（互助）、制度化された地域ぐるみでの助け合いや支え合い（共助）、行政が行う公的支援（公助）の連携や協力体制を築くことが大切です。

みなさんやご近所、さまざまな団体、市役所等が協力し、地域全体で福祉を推進していきます。



自助

自分自身のケア

生きがいづくり、健康づくり、介護予防など

互助

みんなの支え合い

周りの人同士の助け合い、町内会・自治会の活動、ボランティア活動など

共助

介護保険や医療保険などのサービス

デイサービスやヘルパー、診療所での受診など、社会保険制度によるサービス

公助

行政による支援

高齢者福祉、障害者福祉、生活保護などの行政による支援



阿賀野市の地域福祉をめぐる課題

近年の社会情勢をはじめ、阿賀野市の統計データ、市民アンケート調査や計画の評価結果を踏まえて、取り組むべき主な課題を整理し、抜粋掲載しました。

ポイント① 確実に相談につながる仕組みづくり

市の現状

高齢者のみの世帯、ひとり親世帯など支援が必要な人が増えています。

取り組むべき課題

適切な支援につながるように、地域での情報発信や地域団体との連携を行い、支援を必要とする人が相談につながる仕組みづくりが重要です。

ポイント② 地域活動の促進

市の現状

住民同士が支え合いながら活動している一方で、ボランティア活動への参加意向は決して高くない状況です

取り組むべき課題

活動者が少ないことや、情報不足などもあり、活動を活性化するためには、地域の活動情報の周知や団体同士の連携を図り地域での活動の促進にむけて、参加につなげるように、情報提供やコーディネートを行うことが重要です。



ポイント③ 地域交流の促進・福祉教育の充実

市の現状

地域のつながりは年々希薄化しており、声かけやあいさつ、多様な人々との交流が住民同士の支え合いや福祉教育に必要という意見があります。

取り組むべき課題

災害時などの緊急時においても、普段からの地域交流が大切だとの考え方があることから、地域活動への更なる支援や、各行事を通じた世代間交流の促進を図っていく必要があります。また、地域の抱える課題に対し、地域住民が主体となって解決に取り組めるよう、福祉教育の機会や交流促進を充実し、地域に関心を持つ人を増やしていくことが重要です。

この計画のめざすところ

基本理念

つながりを大切に、世代を超えた支え合いのまちをともに育むことを共通の価値としつつ、その実現に向けては一人ひとりがその人らしく取り組み、輝きをもてることを基本的な考えとして、地域福祉を推進します。



基本目標

基本理念の実現に向けて、4の基本目標を定め、地域福祉の普及・推進に努めます。

基本目標 1 みんながつながり、
一緒に取り組むまちづくり

重点施策

- 1 包括的な相談支援体制を構築します
- 2 わかりやすい情報提供を行います
- 3 活動をつなぐ仕組みづくりを支援します

基本目標 2 みんなが自分らしく輝ける
希望のあふれるまちづくり

- 1 地域福祉への関心や理解を深めます
- 2 地域福祉活動の担い手づくりを進めます

基本目標 3 みんながお互いに支え合う
まちづくり

- 1 地域に根差した支え合いの仕組みづくりを進めます
- 2 世代を超えて参加できる地域福祉活動の充実を図ります

基本目標 4 みんなが安心して
安全に暮らせるまちづくり

- 1 安心・安全な地域づくりを進めます
- 2 福祉サービスの充実を図ります
- 3 権利擁護及び成年後見制度の利用促進に対する支援を進めます
- 4 再犯防止の支援を進めます

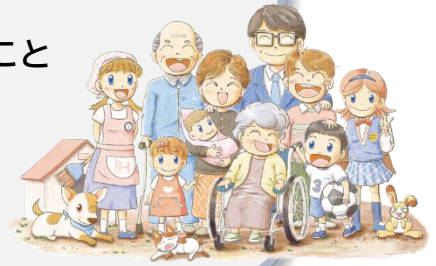
基本目標に対する取組

■「基本目標に対する取組」の見方

みなさん 住民や地域の人々にお願ひしたいこと

阿賀野市 阿賀野市の主な取組

社協 阿賀野市社会福祉協議会の主な取組



基本目標 1 みんながつながり、一緒に取り組むまちづくり

住み慣れた地域で、自分らしく暮らすことができるよう、様々な課題を抱える世帯や人を支援するために、わかりやすい相談窓口の設置等、包括的な相談支援体制を構築します。支援を必要とする人が適切な支援を受けることができるよう、必要な情報をわかりやすく提供します。

1 様々な生活課題に対応するため、包括的な相談支援体制を構築します

みなさん

- 地域に心配な人がいたら、民生委員・児童委員をはじめ、市や社会福祉協議会等の相談窓口を紹介しましょう。
- 『お互い様』と考え、ひとりで抱え込まないようにしましょう。
- 市の相談窓口を知り、気になることは気軽に相談しましょう。

阿賀野市

- 包括的な相談支援体制の構築を検討
- 生活困窮者の自立を支援
- 虐待防止に向けた体制の充実
- 介護やケアを必要とする方への支援

社協

- 多様な相談に対して他機関と連携しながら支援
- 専門職による総合的な相談支援の仕組みづくり

2 支援を必要とする人が適切な支援を受けることができるよう、わかりやすい情報提供を行います

みなさん

- 地域情報に関心を持って、情報を伝達しましょう。
- 日頃からコミュニケーションを深め、情報交換や支援に努めましょう。
- 「広報あがの」や回覧板等を見ることで、日頃の情報収集に努めましょう。

阿賀野市

- 市の発行物や市ホームページ、SNS等を活用して情報を発信

社協

- 相談内容に応じた相談窓口をわかりやすく表示

3 それぞれの活動をつなぐ仕組みづくりを支援します

みなさん

- 情報共有や意見交換の機会を持ちましょう。
- 活動を行っている中で困った時や不明な時は、他の活動を行っている人と一緒に取り組めることを探してみましょう。



阿賀野市

- 各支援機関の円滑な連携を推進
- 民生委員・児童委員等や福祉の専門機関との連携を推進

社協

- C S W（コミュニティソーシャルワーク※）の機能拡充

※コミュニティソーシャルワークとは…

支援を必要とする人々の生活圏や人間関係等の環境面を重視した援助を行うこと。

地域を基盤とするサービスに結びつけ、新たなサービスを開発するほか、制度的な社会資源との関係を調整し、本人の力や市民同士の支え合いを大切にして問題発生を予防する視点を重視する支援方法。支援する専門職をコミュニティソーシャルワーカーという。

基本目標2 みんなが自分らしく輝ける希望のあふれるまちづくり

いきいきと、安心して自分らしく暮らせる支え合いの地域をつくるため、地域福祉への関心や理解を深め、地域福祉活動に参加する人や参加する機会を増やすことで、地域福祉活動の担い手の育成を図ります。

1 地域福祉への関心や理解を深めます

みなさん

- 地域福祉への関心や理解を深めましょう。
- 多様性や個性の尊重、人権について理解を深めましょう。

阿賀野市

- 福祉教育やボランティア活動等の体験学習の推進

社協

- 地域福祉や介護予防に関する講座の充実



2 地域福祉活動の担い手づくりを進めます

みなさん

- 地域や身の回りのことに関心を持ち、ボランティア活動に参加しましょう。
- コミュニケーションの範囲を広げてみて、より地域の絆を深めましょう。

阿賀野市

- ボランティアや福祉人材等の担い手の育成への支援

社協

- 講座の開催やボランティアセンターの機能強化

基本目標3 みんながお互いに支え合うまちづくり

地域に根差した支え合いの仕組みづくりに取り組んでいきます。すべての世代の人が、地域福祉活動に参加できるよう、地域福祉活動の充実を図ります。

1 地域に根差した支え合いの仕組みづくりを進めます

みなさん

- 挨拶から始めて、ご近所と関わりをもち、顔見知りの関係を築きましょう。
- 自治会等の地域の活動や行事に積極的に参加し、地域への関心を高めましょう。
- できる範囲、無理のない範囲で手伝えることを意識して、活動してみましょう。

阿賀野市

- 地域活動支援や活動内容の周知
- 支援を必要とする方の地域生活支援

社協

- 住民同士の助け合い活動の推進
- 挨拶や見守り活動等の推進

2 世代を超えて参加できる地域福祉活動の充実を図ります

みなさん

- 地域の交流拠点として、年齢や障がいの有無、国籍等に関わらず、みんなが参加しやすく、気軽に交流し、相談できる場をつくりましょう。
- 自分自身も積極的に人や場所とつながってみましょう。

阿賀野市

- 交流の場となる拠点づくり支援
- 地域のコミュニティ活動支援

社協

- 居場所やサロン等、誰でも参加できる場づくりの推進

基本目標4 みんなが安心して安全に暮らせるまちづくり

誰もが安心して、安全に暮らせるよう、災害時等に備えた体制づくり、各種福祉サービスの円滑な実施、成年後見制度利用促進、再犯防止他の施策を進めていきます。

1 災害の備えや見守り体制を強化し、安心・安全な地域づくりを進めます

みなさん

- 地域の防災活動や訓練、防犯活動等に積極的に参加しましょう。
- 災害時には率先して、安否確認や避難誘導等に協力しましょう。

阿賀野市

- 住民主体の防犯、防災活動等の推進

社協

- 地域の防災・防犯体制を拡充



2 自分らしく生活を送るために、福祉サービスの充実を図ります

みなさん

- 身近な人が心配な状況にあることに気づいたら、相談窓口につなげましょう。

阿賀野市

- 各施策・事業の円滑な実施

社協

- 日常生活自立支援事業の推進

3 権利擁護及び成年後見制度の利用促進に対する支援を進めます ＜阿賀野市成年後見制度利用促進基本計画＞

みなさん

- 権利擁護や成年後見制度等の利用について、身近な人と話し合ってみましょう。

阿賀野市

- 権利擁護支援の地域連携等の構築支援

社協

- 成年後見制度への円滑な移行推進



4 犯罪をした人等に対する再犯防止の支援を進めます ＜阿賀野市再犯防止推進計画＞

みなさん

- 再犯防止活動の必要性について理解を深めましょう。

阿賀野市

- 関係機関との連携や啓発活動の推進

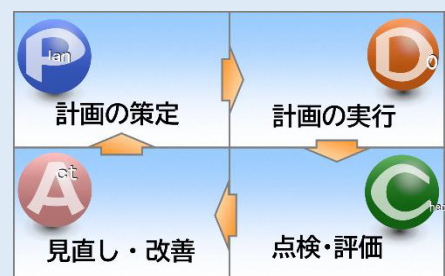
社協

- 犯罪をした人等の自立支援

計画を進めるために

地域福祉を推進し、地域共生社会を実現するため、みなさんや自治会等の地域、社会福祉協議会等の関係機関・団体、行政等がそれぞれ担う役割を明らかにし、相互の連携や協働により計画を推進します。

また、計画の進行管理については、PDCAサイクルを活用し、各種施策の効果や改善点を明らかにし、今後の施策の充実を図ります。



発行：阿賀野市役所 〒959-2092 阿賀野市岡山町10番15号

TEL. 0250-62-2510（代表） FAX. 0250-61-2036

※計画書は市のホームページでも公開していますので

ご覧ください。 <https://www.city.agano.niigata.jp/>



キーワードから探す

Google 提供

ファイル種別

すべて HTML PDF

● ○ ○



地域福祉で検索！